

活動トピックス topics



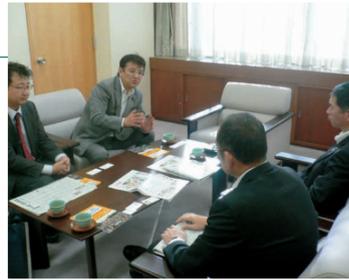
松江市議 (片寄直行・橘よしあき・吉儀敬子)、遠藤秀和政 策委員長と議会報告。(松江市)



立木と土砂堆積により、大雨 時に大水害を引き起こす高津 川の危険箇所を調査。(吉賀町)



介護保険施設で、ケアマネー ジャーや介護福祉士から介護 現場の実態を聴取。(出雲市)



J Aしまねで、TPP、米価の 下落、島根農業の再生につい て意見交換。(松江市)



大平よしのぶ衆議院議員、春 名なおき元衆議院議員と政 府交渉。(衆議院議員会館)

日本共産党県議団

くらしを守れ! 命を守れ! 公約実現にむけて全力

「TPP大筋合意」は農林漁業をこわす

明らかになったTPPの「合意文書」では、国会決議で「聖域」とされた重要5品目(米、小麦、牛肉・豚肉、乳製品、砂糖)の関税大幅引き下げや撤廃も。

J A関係者の「国会決議違反は明らか」、

酪農家の「今でも大変な現状を政府は分かっているのか」との声を紹介「国に対し批准しないことを求めよ」と知事に強く要求。

農業は島根の基幹産業であり地方再生の要です。TPPは絶対に認められません。

子どもは島根の宝 子育て支援の充実を

「子どもはかわいいけど、お金のことが心配」「せめて医療費だけでも安心できるものに」—この子育て世代の切実な願いを届け、子育て支援の充実を求めてきました。

議会論戦と保護者の運動で、2016年度から第1子・第2子の保育料が軽減されると

ともに、児童クラブや病児保育への支援策が充実されます。

日本共産党は、中学卒業までの医療費無料化の実現など、子育てのさらなる負担軽減を求めてがんばります。

教育環境の充実こそ真の学力向上の道

全国学力テストにおいて、松江市と出雲市で学校別の結果が公表され、子どもと保護者が傷ついています。

子どもたちを競争にかりたて、教育現場にとっては圧力でしかない全国学力テスト

は中止すべきです。

真の学力向上の道は、少人数学級の推進、学校施設の整備、教員の多忙解消、いじめのない学校づくりなど教育環境を充実させることです。

地域にねざした循環経済で仕事と雇用を

県内において、非正規労働者は35%を超え、年収200万円未満で働く労働者は40%にもなっています。

企業誘致頼みから脱却し、地域に根を張ってがんばる中小企業、地場産業を育成して

こそ、安定した雇用と仕事をつくり出すことができます。

内発型・循環型の地域振興策の推進、最低賃金の引き上げ、正社員が当たり前の社会の実現に向け力を尽くします。

消費税10%増税ストップ、社会保障の充実を

社会保障のためと言って消費税を増税しながら、医療・福祉は悪くなるばかり。

年金の削減、介護報酬は2.27%引き下げ、高齢者医療の負担増に加え、入院給食費の値上げ、生活保護の削減など、「老いも若きも負担増」のオンパレードです。

日本共産党県議団は、特養ホームの待機者解消、介護保険料・利用料の減免、国保料引き下げなど、くらしを支え、人間としての尊厳を守る社会保障の実現を求めています。

住民合意のない

松江北道路建設 約250億円は中止に

松江だんだん道路(川津)と古江を結ぶ約10キロの松江北道路。この道路建設に対し「農地をつぶさないで」「税金の無駄遣いでは」「人口が減るのに本当に必要なのか」との懸念の声が上がっています。

今、真っ先にすべきことは、土砂災害対策や河川改修など住民の安全を守る事業ではないでしょうか。住民合意のない計画は中止すべきです。

